

賛助会グループ「いきいき21」活動のあらまし



平成21年度長野県地域いきいき実践塾に学び、この仲間達の有志が集い、23年2月にグループ「いきいき21」を立ち上げました。なお、グループの名称はこの「地域いきいき実践塾」から取ったものです。

立ち上げの主旨は、高齢化社会を迎え、精神的にも身体的にもまだ充分活動できる我々高齢者が地域社会に埋もれることなく、今まで培ってきた知識と経験を活かし、地域において社会参加活動を積極的に実践し、地域活性化に貢献することにあります。

活動の中心は、高齢者施設（主にデイサービスセンター）の慰問を主目的としています。

会員は当初塾修了生のみでしたが、この会の目的に賛同するシニア大卒業生等を含め総員12名であります。

今まで、慰問は年間7～8回程度実施してきました。

慰問形態は午睡後の2時頃から1時間程度として、慰問内容は唱歌・童謡、手遊び、語部、手品、紙芝居、楽器演奏等であります。

会員個々の特技を始め、毎月第一金曜日の例会日に練習を重ね、芸を磨くとともに新しい種目を取り入れるなど努力してきました。



施設においては様々な人生経験を積み上げてきた利用者の方々の楽しそうな顔を見ると、感動と達成感をおぼえます。ほんの、一時の出会いであっても、お互いの心が通い合うことが大切かと思えます。

今後の課題としては、グループ会員の高齢化に伴う身体の衰えなど引退する会員が増え、この補充をして現状を維持していかなければなりません。また、慰問を希望する施設の数も沢山あり、年間複数回慰問を希望する施設もあります。これらの需要に応えていくことが大事と考えます。